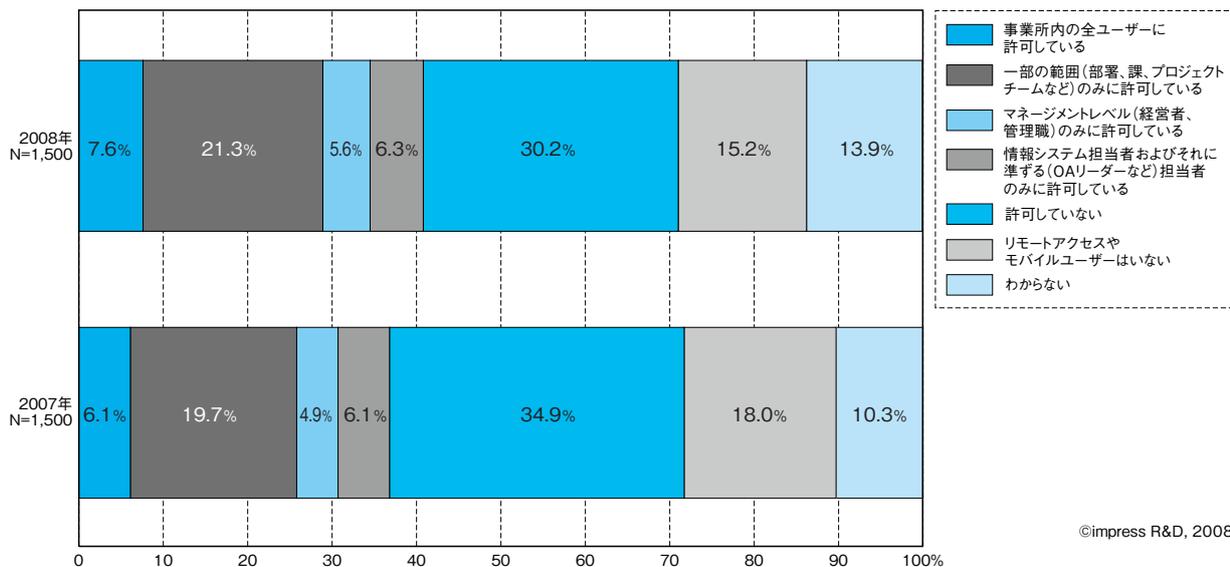


社内ネットワーク接続

■ リモートアクセスによる社内ネットワーク接続許可は4割

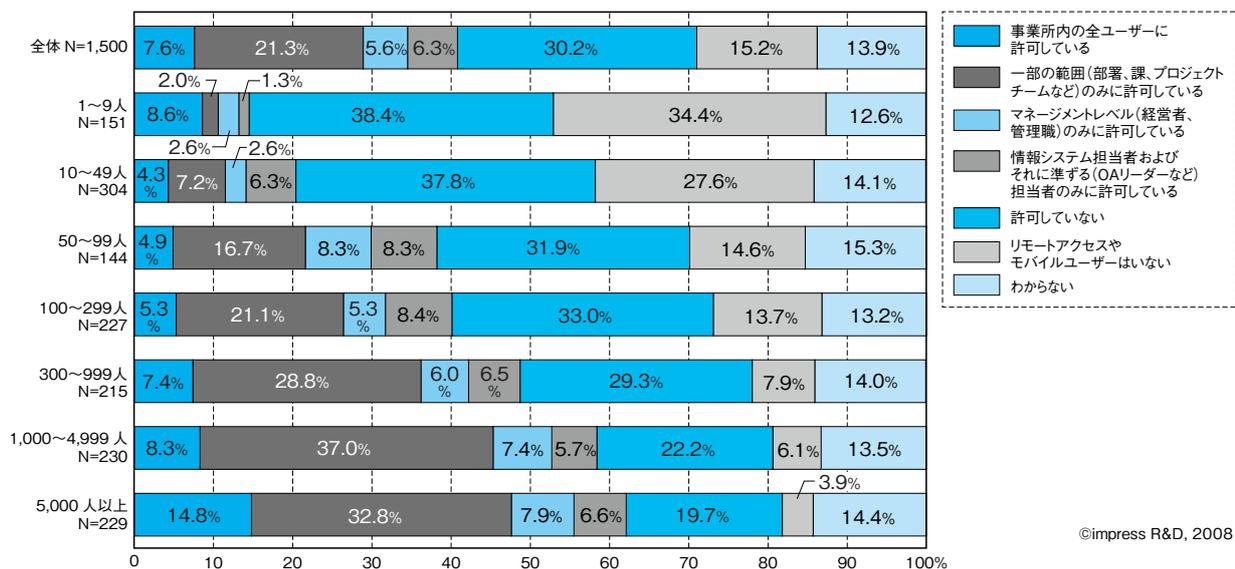
資料7-8-15 リモートアクセスによる社内ネットワーク接続許可状況[2007年-2008年]



外出先などから会社のネットワークに接続する、リモートアクセスによる社内ネットワーク接続許可状況をみると、いずれかの範囲で接続を許可している比率は40.7%となり、「一部の範囲(部署、課、プロジェクトチームなど)のみに許可している」が21.3%である。昨年と比較し、接続を許可している比率はやや増加している。

■ 大企業ほど接続を許可している比率が高い

資料7-8-16 リモートアクセスによる社内ネットワーク接続許可状況[従業員規模別]

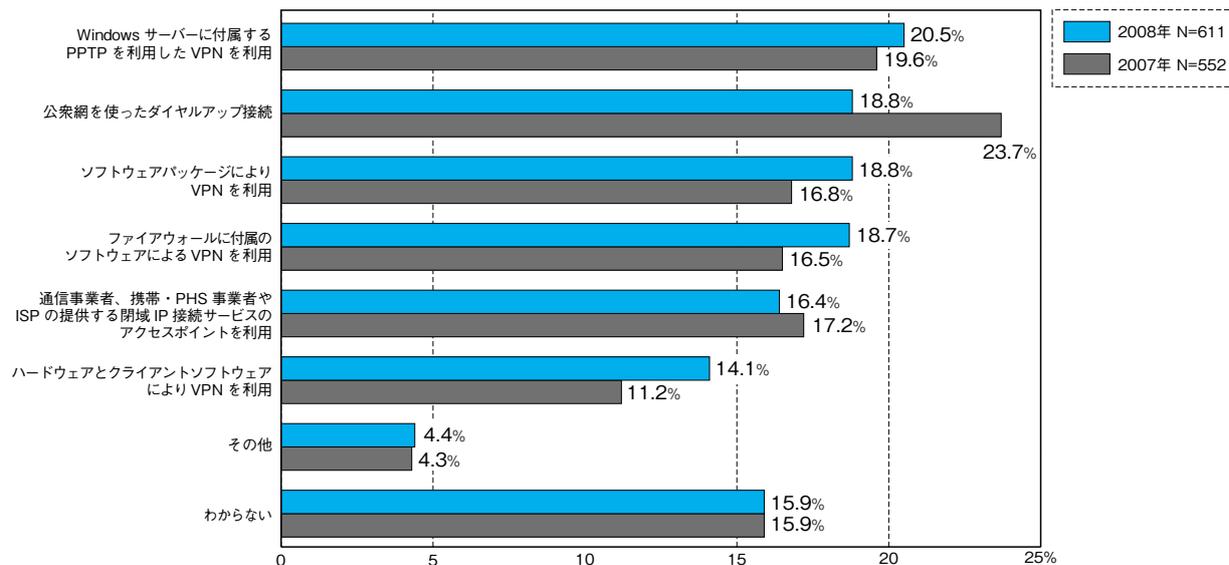


リモートアクセスによる社内ネットワーク接続許可状況を従業員規模別にみると、規模が大きな企業ほど接続を許可している比率が高く、5,000人以上の企業では62.1%にのぼる。小規模な会社ほど「許可していない」比率は高まる傾向にあるが、同時に「リモートアクセスやモバイルユーザーはいない」比率も高くなっている。

社内ネットワーク接続

■ PPTPを利用したVPNの利用が20.5%でトップ

資料7-8-17 リモートアクセスによる社内ネットワーク接続設備(複数回答)[2007年-2008年]

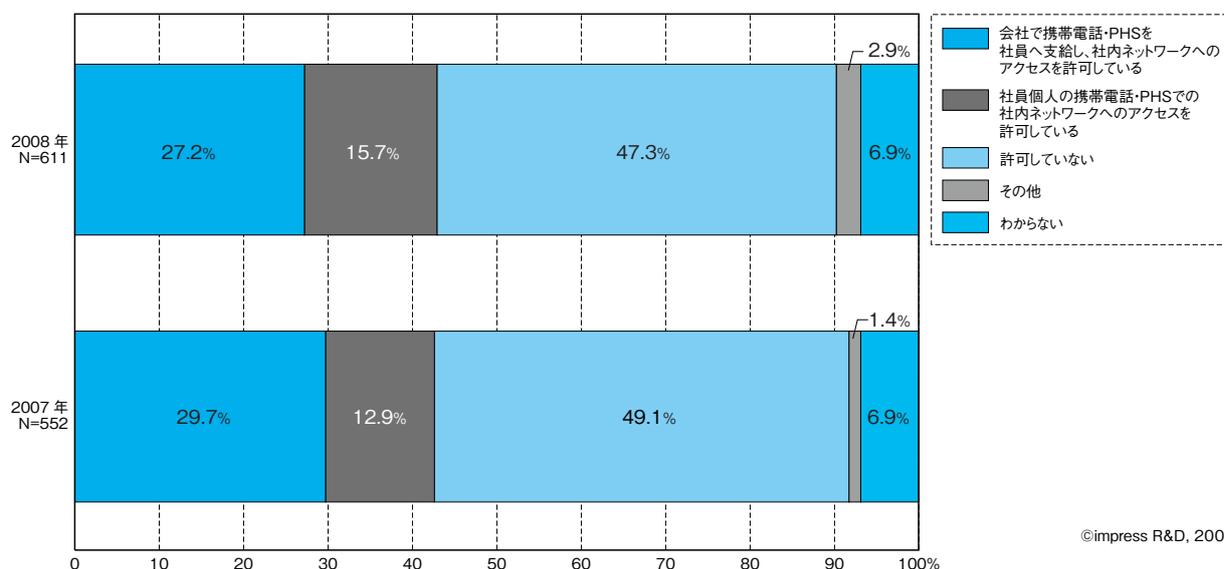


リモートアクセスによる社内ネットワーク接続設備は、「Windows サーバーに付属する PPTP を利用した VPN を利用」が 20.5% で最も高く、「公衆網を使ったダイヤルアップ接続」と「ソフトウェアパッケージにより VPN を利用」が 18.8% で続く。昨年よりも、「公衆網を使ったダイヤルアップ接続」の比率が大きく減少した。

©impress R&D, 2008

■ 半数は携帯電話での社内ネットワーク接続を許可していない

資料7-8-18 携帯電話での社内ネットワークの接続許可状況[2007年-2008年]



リモートアクセスを許可している企業のうち、携帯電話での社内ネットワークの接続許可状況を見ると、「許可していない」が 47.3% と半数近い。許可している企業では「会社で携帯電話・PHS を社員へ支給し、社内ネットワークへのアクセスを許可している」が 27.2% と、個人の携帯電話を利用している比率に比べて高い。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp